

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」  
推進校実施報告書

- 1 学校名：岐阜県立岐阜盲学校
- 2 実施日時：2017（平成 29）年 12 月 25 日（月）14：00-15：30
- 3 対象：生徒 12 名（小学部、中学部、高等部）、保護者と教員 10 名
- 4 派遣パラリンピアン：中嶋 茜さん  
(パラリンピック女子ゴールボール パラリンピックロンドン大会 金メダル)

5 授業内容：講演、実技

2017（平成 29）年 12 月 25 日（月）に、岐阜県立岐阜盲学校にて、パラリンピックロンドン大会の女子ゴールボールで金メダルを獲得した中嶋茜選手の講演と実技指導が行われました。岐阜盲学校は、中嶋選手の母校ということもあり、終始温かい雰囲気では進行しました。

「パラリンピックに出場して学んだこと」というテーマで行われた講演は、自己紹介から始まり、中嶋選手がゴールボールを始めたきっかけや日本代表に選ばれるまでの経緯、さらにはパラリンピックロンドン大会に参加したときの思い出などについて、中嶋選手自身の経験や考えを基にお話しされました。もともと運動が苦手だった中嶋選手は、先輩に誘われてゴールボールを始めその楽しさに魅了されていったことから、スポーツを楽しんで欲しいということを強調して伝えていました。一方で、日本代表の選考合宿に召集され、少しずつ競技レベルが高くなる中で、楽しさ以上に勝ちたいという気持ちが湧いてきて隠れて練習をしていたエピソードもお話しされました。そして、練習と勉強の両立をするために時間を有効に活用するように努めた経験から、楽しいだけでなく、日々の努力が大切であることも伝えていました。また、パラリンピックロンドン大会や日本代表の選考合宿などの競技レベルの高いところでゴールボールを行なった経験から、些細なことでも「自分でやることは自分でやる」という強い気持ちを得ることができたとお話しされた際には、児童・生徒達だけでなく、保護者の方や先生方からも感嘆の声が聞かれました。

また、児童・生徒達からは、「ゴールボールの楽しいところはどこか」という質問があり、中嶋選手は、「ゲーム自体はシンプルだけれど奥が深い」ところと「アイシェード（ゴールボールを行なう際に、何も見えないように目に装着するもの：筆者加筆）のおかげで障害の有無に関わらず参加できる」ところを挙げていました。そして、講演の最後には「怖がらずに楽しむところからスポーツを始めてみてほしい」という児童・生徒達へのメッセージを送って講演は終了となりました。

実技指導では、ゴールボールのディフェンスの仕方の練習を行った後に、実際に 1 対 1 のゲームを行いました。最初は、思ったとおりにボールをまっすぐ転がせなかったり、ボールが来るのを予測できずにいた児童・生徒達も、中嶋選手の指導によって少しずつ上手くなっていきました。最後にゲームを行った際には、強いボールを転がしたり、ぎりぎりのところでボールを止めたりする児童・生徒の姿に、周りで見ている先生方や保護者の方から歓声と拍手が送られていました。

最後に、生徒からゴールボールをやってみた感想の発表と代表生徒からの謝辞があり、散会となりました。

## 6 授業の様子



【 講演の様子 】



【 会場の様子 】



【 金メダルを触っている様子 】



【 ディフェンスの練習② 】



【 ディフェンスの練習② 】



【 ボールを転がす際の足の向きの指導 】



【 ゲームの様子 】



【 感想と謝辞 】